

レコードレイアウト		ファイル名						
ファイル形式		メモ価格一覧.TXT 最終価格一覧.TXT						
留意事項		①データはすべて可変長とする。ただし、下表の文字数を最大とするため上回る場合はカットされる。 ②下表の文字数は半角文字数。 ③小数部を持つデータは下記、項目説明による。 ④数値データはカンマによる桁区切り厳禁。 ⑤TXTファイル一行目は項目名(タイトルヘッダ)とする。						
様式	項目名	型	最大桁数		項目説明			
			符号	文字数				
(1)	全国地方公共団体コード(市町村コード)	N		5	内容を出力:全国地方公共団体コードの末尾1(電算処理におけるチェック用の検査数字)を除く5桁コード			
	整理番号	N		20				
	標準宅地番号	N		20				
	字名・地番	N		90				
	用途地区	N		20				
	用途地区コード	9		3	用途地区名を資産評価システム研究センター路線価等集約化事業「電子データの作成マニュアル等」に従い、用途地区区分コード表のコードに変換すること			
	標準価格	平成24年度 A	9		9	単位:円/㎡ 整数値		
		平成21年度 B	9		9	単位:円/㎡ 整数値		
	鑑定評価額	平成24年度 C	9		9	単位:円/㎡ 整数値		
		平成21年度 D	9		9	単位:円/㎡ 整数値		
変動率	A/B	X		4	単位:% 小数部がある場合は「XX.X」で出力 文字数は整数部最大桁数、小数は小数部最大桁数 小数点以下の桁数が2桁以上の場合は、メモ価格一覧へ表示した数値と同様の端数処理とする			
	C/D	X		4	単位:% 小数部がある場合は「XX.X」で出力 文字数は整数部最大桁数、小数は小数部最大桁数 小数点以下の桁数が2桁以上の場合は、メモ価格一覧へ表示した数値と同様の端数処理とする			
(2)	近隣地域の状況	街路条件	幅員	X		10	1	単位:m 小数部がある場合は「XX.X」で出力 文字数は整数部最大桁数、小数は小数部最大桁数 小数点以下の桁数が2桁以上の場合は、小数点以下2桁目を四捨五入する 小数部がない場合は整数のみの表示で良い
			舗装の有無	N		30		内容を出力:「有」「有り」「アスファルト」等で表示
			道路の種類	N		30		内容を出力:「国道」「県道」「市道」「町道」「その他」等で表示
			系統・連続性	N		30		内容を出力:「良」、「否」、「行き止まり」等で表示
		交通・接近条件	最寄駅への距離	9		15		単位:m 整数値
			最寄バス停への距離	9		15		単位:m 整数値
	環境条件	上水道	N		20		内容を出力:「有」、「無」、「簡易水道」、「引き込み可」等	
		下水道	N		30		内容を出力:「有」、「無」、「処理区域内」等	
		都市ガス	N		20		内容を出力:「有」、「無」等	
	法令上の規制等	区域区分	N		20		内容を出力:「市街化」、「調区」、「非線引き」、「都計外」等	
		用途地域	N		30		内容を出力:「一低専」、「第一種低層住居専用地域」等	
		指定建ぺい率	9		3		単位:% 整数値	
		指定容積率	9		4		単位:% 整数値	
標準的画地	規模	X		10		2	単位:㎡ 小数部がある場合は「XX.XX」で出力 文字数は整数部最大桁数、小数は小数部最大桁数 小数部がない場合は整数のみの表示で良い	
	形状	N		20		内容を出力:「整形」、「不整形」、「やや不整形」、「やや長方形地」等		
	間口	X		5		1	単位:m 小数部がある場合は「XX.X」で出力 文字数は整数部最大桁数、小数は小数部最大桁数 小数部がない場合は整数のみの表示で良い	
	奥行	X		5		1	単位:m 小数部がある場合は「XX.X」で出力 文字数は整数部最大桁数、小数は小数部最大桁数 小数部がない場合は整数のみの表示で良い	
	高低差	N		10		内容を出力:「高」、「低」、「等高」等		
	接面関係	N		10		内容を出力:「中間」、「角地」、「準角」、「二方」等		
	標準的使用	N		30		内容を出力		
評価対象地の状況	規模	X		10		2	単位:㎡ 小数部がある場合は「XX.XX」で出力 文字数は整数部最大桁数、小数は小数部最大桁数 小数部がない場合は整数のみの表示で良い	
	形状	N		20		内容を出力:「整形」、「不整形」、「やや不整形」、「やや長方形地」等		
	間口	X		5		1	単位:m 小数部がある場合は「XX.X」で出力 文字数は整数部最大桁数、小数は小数部最大桁数 小数点以下の桁数が2桁以上の場合は、小数点以下2桁目を四捨五入する 小数部がない場合は整数のみの表示で良い	
	奥行	X		5		1	単位:m 小数部がある場合は「XX.X」で出力 文字数は整数部最大桁数、小数は小数部最大桁数 小数点以下の桁数が2桁以上の場合は、小数点以下2桁目を四捨五入する 小数部がない場合は整数のみの表示で良い	
	高低差	N		10		内容を出力:「高」、「低」、「等高」等		
	接面関係	N		10		内容を出力:「中間」、「角地」、「準角」、「二方」等		
	利用の現況	N		30		内容を出力		
	最有効使用	N		30		内容を出力		
追加	資産評価システム研究センター使用の追加項目	標準宅地または標準宅地区分コード	9		2		内容を出力:標準宅地は「1」、標準宅地は「2」とする	
		データ区分コード	9		2		内容を出力:標準宅地・標準宅地番号について次の各ステータスによってコード入力を行う 「0」:(平成24年度)評価替えで新たに設定した標準宅地 → 現行運用データ(路線価等業務管理システム)にないで標準宅地(番号)位置を設定する必要がある 「1」:(平成24年度)評価替えにおいて(平成21年度)の標準宅地と比較して、標準宅地位置に変更なし、標準宅地番号に変更あり → 現行運用データの標準宅地位置及び標準宅地番号がそのまま使用できる 「2」:(平成24年度)評価替えにおいて(平成21年度)の標準宅地と比較して、標準宅地位置に変更あり、標準宅地番号に変更あり → 現行運用データの標準宅地位置はそのまま使用できるが、標準宅地番号を変更する必要がある 「3」:(平成24年度)評価替えにおいて(平成21年度)の標準宅地と比較して、標準宅地位置に変更あり、標準宅地番号に変更あり → 現行運用データの標準宅地位置は変更する必要があるが、標準宅地番号はそのまま使用できる 「4」:(平成24年度)評価替えにおいて(平成21年度)の標準宅地と比較して、標準宅地位置に変更あり、標準宅地番号に変更あり → 現行運用データの標準宅地位置及び標準宅地番号がそのまま使用できないので、両者を変更する必要がある	
	旧標準宅地番号((平成21年度)評価替え時)	N		20		内容を出力:データ区分コード項目の「2」、「4」に対して必須項目。「0」、「1」、「3」に対しては空欄		

*表中の「型」は、整数の数値型「9」、小数点以下を含む数値型「X」、文字型「N」である。

*「1」「2」の様式にあわせて表示を分けていますが、データの分割は必要ない

*資産評価システム研究センター使用の追加項目への出力内容は、出力元システムにて入力されていることを前提としている。